

◎ラップ東京では、皆様のご参考になるニュースを抜粋し配信しております。バックナンバーは www.raptokyo.co.jp から

「身近なリスク」

東北関東大震災により福島原発が大きな被害を受け、首都圏でも「計画停電」が実施されています。当社のエリアでも数回、計画停電が実施されました。震災前は停電することもほとんど無かったので停電という経験も数えるほどしかない、という方も多いと思います。このような事態になり、仕事面でも生活面でも電気が存在がとて大きかったのだと気づかされました。

今は、どの会社でもパソコンをいろいろな形で利用していると思います。大切なデータも大量にはいつていると思いますが、それらを守るために急な停電に注意が必要です。パソコンのハードディスクは起動中に急に電気が落ちると、それだけで故障して使えなくなる可能性があります。故障した場合、データだけでも復旧したい、ということであれば専門の業者に依頼しなければなりません。状況にもよりますが、数万円から場合によっては数十万円以上かかる場合もあります。

計画停電が実施される場合もスタート時間は目安であって、いつ停電するかわかりません。そこで、リスク管理のひとつとして無停電電源装置 (UPS) の導入を検討してみてもいいと思います。急に停電しても、数分から数十分の間は電気がパソコンに送られ、その間に正常な形でパソコンの電源を落とし、故障などからパソコンを守る役割を果たすのが無停電電源装置 (UPS) です。すでに導入されている事業所もありますが、多くはサーバ機に接続され、パソコンとは連動されていないケースもあります。これからは落雷などによる停電も考えられますから、「突然の停電」を考えたリスクを検討しておく必要もあると思います。

さて、停電などが発生しなくても、古くなればパソコンは壊れる可能性が高まります。そんな時のために、とっておきたいのが

「バックアップ」です。大切なデータ類は必ず「バックアップ」を取るようにしておけば急な障害でも対応することができます。外付けのハードディスクやZS (ネットワークに直接接続して使用するファイルサーバ専用機) にデータを移すことが一般的です。これはデータをいれておくだけなので安価で購入することができます。これになるべく最新のデータを移すか、機種によっては自動でバックアップされるので、いま使っているパソコンに「何か」があっても安心です。

便利な世の中になり、大量のデータを印刷した紙に保管するのではなく、外部記憶装置などに保管できるようになりました。一方で、停電などにより、一瞬で全て失ってしまうリスクもあります。それにあわせてリスク管理も必要になってきますので、社内を見渡して検討してみたいかがでしょうか？

また、常日頃から言われていることですが、倒れそうなものを固定したり、危険なものを上に置かないようにすることも重要なことだと思います。日ごろ、防災について無関心だった我が社でも、今回の震災を教訓に、身近なところから見直し、改善をしていきたいと思っております。

東北関東大震災の被害にあわれた皆様へ。

3月11日に発生した東北関東大震災におきまして亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災された皆様、そのご家族の方に心よりお見舞い申し上げます。

微力ながら、当社でも出来る限りの節電、節水に努めております。一日も早い復興と被災者の皆様に平穏な生活が戻ることをお祈り申し上げます。

ラップ東京有限会社
池谷朝洋